



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェブの
登録商標です(下地中学校HPへ)

5/29(金) 第3回校内研修会

愛知県弥富市立十四山東部小学校
の鈴木賢一先生を招いて

5/29(金)、第3回校内研修会を行いました。
内容は昨年度から文科省指定の研究を推進している
「特別の教科 道徳科」。講師は、愛知県弥富市立十
四山東部小学校の鈴木 賢一先生です。

当日の日程は、次の通りです。

校 時	学級(授業者)、教材、内容項目
1校時	2年A組(鈴木 賢一先生) 「夢中になるのは悪いこと？」 A(2)節度、節制
	
2校時	1年A組(渡久知 翔太先生) 「『養生訓』より」 A(2)節度、節制
	

3校時 3年A組(仲里 肇洋先生)
「『こち亀』は、40年間休みなし」
A(2)節度、節制



4校時 3年B組(濱川 詩織先生)
「『こち亀』は、40年間休みなし」
A(2)節度、節制



☆今回の研修は、鈴木先生の飛び込み授業、各担任による提案授業で行いました。

☆お気づきの方もいらっしゃると思いますが、内容項目「A(2)節度、節制」や、3年生の教材「『こち亀』は、40年間休みなし」を揃えたりして、研修会の工夫をしました。同じ教材でも、授業者と生徒とのやりとりで授業のまとめや振り返りにも学級の個性が出るので、とても興味深かったです。

☆5校時は1年B組(鈴木先生の飛び込み授業)。

※②に続きます。

5/29(金) 第3回校内研修会

愛知県弥富市立十四山東部小学校
の鈴木賢一先生を招いて

5/29(金)「第3回校内研修会」の続きです。

5校時 1年B組(鈴木 賢一先生)
『養生訓』より
A(2)節度、節制



放課後 第3回校内研修会(小中合同研修)
☆本日の全授業を振り返って
☆講話「自己を見つめ、よりよい生き方について深く考える道徳授業」
授業づくり演習、質疑応答など



☆5校時は、1年B組。鈴木先生の飛び込み授業でした。最初の問い「だめだと思っているのに、ついやり過ぎてしまうことは?(健康を害することにつながるような欲や習慣、心の有り様など)」に対して生徒からは、「夜更かし・手遊び、悪い姿勢、いねむり」などの回答がありました。



☆途中CM動画を視聴し、「欲望に負けちゃうくらいが人間らしいんじゃないねえ?」のセリフに共感するのか、共感しないのか、心を揺

さぶられつつ、本時のテーマ「体も心も健康であるためには、どんなことが大切だろう」に迫っていきました。終末の発言では「欲を抑えることも、欲を満たすことも、どちらもバランスが大事」「(将来に自分のために、幸せのために)あえてきついにチャレンジすることも必要」「目標を達成したら自分自身へのごほうびを与える」など、多様な意見を交流することができました。

☆放課後の校内研修は、鈴木先生を講師に、「本日の授業を振り返って」「(生成AIを活用し)授業構想シートを作ってみよう」に取り組みました。各学年・発達段階に応じたよりよい道徳授業づくりについて学ぶことができました。

◎当日は、沖縄県総合教育センターの前田 佐綾香研究主事も招いてのコラボ研修でした。本校の研究には前田主事も興味を示してくれて、今後は下地中の生徒や教師の頑張りを全県に発信していきたいと意気込んでいました。来る12月4日には最終の研究発表会を計画しています。これからも「チーム下中」で研究を頑張っていきましょう!



5/30(土)・31(日) 地区中体連夏季総体

男子バスケットボール部、
サッカー部が躍動!

5/30(土)・31(日)は「宮古地区中学校夏季総合体育大会」が行われ、本校の男子バスケットボール部、サッカー部が大会に出場しました(男子バスケットは5名ちょうど、サッカー部に至っては11名を下回る人数での出場となりました)。

結果は、次の通りです。

☆バスケットボール【男子】

下地 44-66 北

☆サッカー

下地 0-9 平良

下地 1-7 北

両チームともに健闘しましたが、県大会派遣を勝ち取ることはできませんでした。それでも、「アララガマ魂」で大会で躍動した選手、会場に駆けつけて応援を頑張った皆さんに拍手!



【お知らせ】

☆5/31(日)に池原公園清掃ボランティアに参加した生徒は、担任への報告をお願いします。
☆今週末の夏季総体は「バレーボール・野球」が開催されます。「心ひとつに 夢の先まで!」



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェブの
登録商標です(下地中学校HPへ)

6/3(水) 5校時

薬物乱用防止教室

6/3(水)、5校時に「薬物乱用防止教室」を行いました。場所は、2・3年生が多目的教室、1年生は各教室(オンライン)で行いました。

講師は、「サイバー犯罪防止教室」でもお世話になった宮古島警察署の佐久田 泰彦さんです。



講話では、薬物乱用として「酒・タバコ・薬」がゲートウェイ(薬物乱用の入り口)として挙げられること。身体や脳がより強い刺激を求め、過剰摂取につながってダメージを受け、死に至るケースもあることを学びました。そして、「これらの事件は、沖縄本島での事件だから……」と対岸の火事として捉えるのではなく、身近な宮古島にも迫っていることを伝えていました。暴力団、反社会的勢力、反グレ集団などが、若者に対して「合法的な国もあるから大丈夫」「身体が楽になるよ」「ダイエットに効くよ」「1度だけなら大丈夫」など、甘い言葉をかけてくること、薬物依存になり、薬を手に入れるお金ほしさに「窃盗・強盗」や「闇バイト(殺人)」などの犯罪に手を染める人がいることなどを挙げていました。



また、薬物依存で妄想・錯乱状態の出した人の動画や作文もひらがなでしか書けない、〇も描けない人のことも紹介していました。薬物依存症の怖さを目の当たりにして、その恐ろしさを実感することができました。

そして、薬物の誘いを断る「**REALの原則**」も教えていただきました。

R : Refuse (断る) 薬物の誘いを「断る」勇気を持つことが大切

E : Explain (説明する) 「嫌だ」という気持ちを、言葉でしっかり伝えることが大切

A : Avoid (避ける) 危険な場所や状況には、近づかないように避けることが大切

L : Leave (立ち去る) 危険な状況に巻き込まれそうになったら、その場から逃げるのが大切

講師への「お礼の言葉」は、3年生の平良皇姫さんが行いました。

本日はお忙しい中、薬物乱用防止教室を開いていただき、ありがとうございました。薬物が心や身体に及ぼす害や薬物の危険性について知ることができました。

また、県内でも薬物による検挙事案が発生していることを知り、この問題がSNS上や遠い世界の話ではなく、すぐ身近に存在していることを実感しました。

特に、大麻や危険ドラッグなどの薬物を摂取してしまうと、自分の意思だけではやめられないことが印象に残っています。

そして今日学んだ薬物の恐ろしさや、薬物を誘われたときの断り方「**REALの原則**」などを忘れず、薬物には「ダメ、ゼツタイ」という強い意識を持ち、正しい判断ができるようにしていきたいです。

貴重なお話をいただき、本当にありがとうございました。



言語能力の向上、語彙力の強化に向けて

読書活動を充実させよう！

今回は、みだしの「読書活動の充実」についてお話しします。読書活動が充実すると、どんないいことがありますか？その一例として、「言語能力の向上」「語彙力の強化」と言っても、ピンとこない人もいると思うので、説明をしたいと思います。

1 「言語能力が上がる」ってどういうこと？

読書をすると、「考えを言葉にする力」がどんどん伸びます。たとえば……

- 登場人物の気持ちを考える
- 「どうしてこうなったのか」を推理する
- 自分ならどうするか考える

こういうことを続けると、

- ☞ 自分の考えをはっきり言えるようになる
- ☞ 文章を読んで理解する力が上がる

つまり、

☆「読む → 考える → 言葉にする」力が育つ

これが「言語能力の向上」です。

言語能力



2 「語彙力が高くなる」ってどういうこと？

読書「読むこと」をすると、使える言葉の数が増えていきます。

たとえば……

- 「うれしい」だけじゃなく
→「満足」「感動」「誇らしい」といった言葉を知る
- 「すごい」だけじゃなく
→「圧倒的」「見事」「鮮やか」などを知る

すると、

☞ 「話すこと・聞くこと(話し合うこと)」の場面で、自分の思いや考えを相手に分かりやすく伝えられるようになる

☞ 「書くこと」の場面で、言葉が広がったり、内容が深まったりする

つまり、

☆ 言葉の種類(知識・技能)が増すと、「思考力・判断力・表現力」が上がる

これが「語彙力が高くなる」ことです。

語彙力



本には、「日常会話では使わない言葉」「作家さんが厳選した表現」「登場人物の深い気持ち」などがたくさん入っています。

より多くの本と出会うことで、自然に「言葉の引き出し」を増や

していくことになります。

つまり「読書の大事なポイント」として、

☆「たくさん読む」ことよりも、「考えながら読む」こと

→「なぜ?」「どうして?」と考える

→「気になる言葉」に注目する

☆読後も大事→「読書ノート」に書き留める

※読書ノートを書くときに「本に出てきた言葉を書く」「気に入った表現を書く」。これを繰り返していくと、言葉が増えていくだけでなく、日常で使いこなせるようになっていきます。このことは、先ほどの説明「言語能力が上がること・語彙力が高くなること」の実感につながります。まだ「読書ノート」に1冊も書き留めていない人は、このことに遅れを取っていることに気付いてほしいです……。

☆2階に、文化図書専門委員会作成の掲示物「本屋大賞(2023～2026)特集」があります。「読書活動の充実」に向け、1冊を手にとってみませんか？



【お知らせ】

☆ 6/9(火)から「教育相談」がスタートします。相談実施日は5校時です。下校時間は、保護者に伝えておきましょう。



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしゅう

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェブの
登録商標です(下地中学校HPへ)

6/8(月) 8:38頃

フィリピン付近でM8.2の大地震
気象庁は宮古島市に対し
「津波注意報」「避難指示」発令

6/8(月)、8:38頃、フィリピン付近でM8.2の大地震が発生しました。この地震発生を受け、気象庁から宮古島市に対し「津波注意報」「避難指示」が発令されました。時系列で紹介します。

9:05「津波注意報」「避難指示」発令

予測では、「宮古島・八重山地方への津波第1波の到達予想時間は11:00、高さは1m」。

津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

	巨大地震の場合の表現	数値での発表(発表基準)	とるべき行動
大津波警報	巨大	10m超 (10m<高さ)	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってきます。津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
		10m (5m<高さ≤10m)	
		5m (3m<高さ≤5m)	
津波警報	高い	3m (1m<高さ≤3m)	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
津波注意報	(表記しない)	1m (20cm<高さ≤1m)	海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。潮の流れが速い状態が続きますので、津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。

9:30 保護者あてテトル配信「『津波注意報』に係る学校対応について」

「『津波注意報』発令中も下地中学校は、通常通りの日程で授業を行う」ことを保護者あてにテトルで配信。また、下地中学校は避難所に指定されていることから、避難場所を「2階多目的教室」に設定(避難者は、いませんでした)。

大きな揺れ、津波警報などですぐ避難!

Yahoo!ニュース
オリジナル
監修:気象庁

海から離れる	ただちに高い場所へ	車は使わない
- 絶対に海を見に行かない - 津波警報などの発表時は戻らない	- 避難所ではなく避難場所へ - 日頃から避難場所の確認を	- 波滞に巻き込まれる懸念 - 原則、徒歩で避難を

☆画像は「Yahoo!JAPANニュース」より

- 12:18 沖縄市中城湾港「微弱(数cm程度)観測」
- 12:44 宮古島・八重山地方「第1波到達中か」
- 13:10 石垣島石垣港「微弱(数cm程度)観測」
- 13:36 宮古島平良「微弱(数cm程度)観測」
- 15:02 宮古島平良「微弱(数cm程度)観測」
- 16:50 「津波注意報」「避難指示」解除

本校では、生徒の安全確保を最優先に対応しておりますが、各家庭におかれましても、以下の点について改めてご確認をお願いいたします。まず、地震の強い揺れを感じた場合や津波注意報等が発表された際には、海岸付近には決して近づかず、速やかに高い場所や指定された避難場所へ移動することが重要です(避難の際は車の使用を控え、徒歩での移動を基本とし、安全確認をしながら落ち着いて行動しましょう)。



さらに、日頃からの備えも大変重要です。ご家庭内において、ハザードマップや避難経路を再確認するとともに、家族間での連絡方法や集合場所について話し合っておきましょう。加えて、水や非常食、懐中電灯、携帯ラジオなどの防災用品の点検もお願いいたします。なお、災害時には不確かな情報や噂が広がりやすくなります。テレビ・ラジオ・気象庁や自治体の公式発表など、信頼できる情報源をもとに、正確な情報を把握し、適切に判断することが大切です。

今後も、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。





となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェブの
登録商標です(下地中学校HPへ)

6/8(月) 5・6校時 3年生「総合学習」

「エコパーク宮古」 でSDGsを学びました

6/8(月)、5・6校時に3年生の総合的な学習の時間でSDGsについて学ぶ校外学習を行いました。場所は「エコパーク宮古」です。



学習のねらいは、「①宮古島のSDGsの取組を知り、地域の諸問題について考える機会とする【キャリアプランニング能力】」「②宮古島の課題を踏まえ、自分に何が出来るかを考え行動しようとする態度を育てる【主体性】【協働力】」でした。

当日は天気が危ぶまれたものの、曇天でしたので予定通り徒歩で行ってきました(「津波注意報」発令中であつたため、私は同行できませんでした。ここからは、下地心也特派員にまとめてもらった内容を紹介します)。

3年生総合学習のテーマ『SDGsの視点で探究』の一環で、字上地にある「エコパーク宮古」の施設見学に行ってきました。

エコパーク宮古は、エコアイランド宮古島として行っている、持続可能な社会への取り組みを幅広くPRする事を目的とされた施設です。

館内には、15か所ある、次世代エネルギーパークの場所を示したジオラマ、時速91kmで世界ギネス記録を受賞したソーラーカーの展示や、その他各



実証事業の展示がありました。

エコパーク職員の垣花さん、仲宗根さんによる講話では、生活を支える水の問題や、昔に比べて海面上昇や埋め立てがなされて砂浜

が無くなっていること。沖縄県内で不法投棄の割合がNo.1であること。島の東側に流れ着く漂着ゴミなど、宮古島市が抱えている問題が紹介されました。

年間に多くの観光客が訪れる宮古島を、より美しくするため、きれいな環境を守るために、

- 1 ワンハンドクリーンアクションで気付いたゴミを拾ってこう！
- 2 理想通貨を発行して、ゴミ拾いのボランティア活動や学びを促そう！
- 3 知ること・考えること・行動することが大切！

などを教えていただきました。

下地特派員、ありがとうございました。

因みに、宮古島市HPによると、「エコパーク宮古の内容」を次のように紹介しています。

本館は、「エコアイランド宮古島」についての概要、島内に点在するエコ施設の紹介、低炭素社会システムの構築を目指す島嶼型^{とうしょ}の取り組み等、パネルや動画を使って解りやすく展示紹介し、島民のみならず観光客や修学旅行生、研修などで島を訪れた方々等、老若男女を問わず幅広くPRする事を目的として建設された施設です。

<https://www.city.miyakojima.lg.jp/gyosei/ecoisland/ecopark/2014-1021-1305-24.html>

【お知らせ】地区中体連夏季総体の結果

☆バレーボール競技

◎女子バレー部が「3位決定戦」で城東を破り、県大会への出場権を得ました！

○男子バレー部は、平良に健闘したものの、0-2で敗れました。

☆野球競技：「宮古チーム」は、平良に1-6で敗れたものの、2戦目の北・西辺に1点先取。土曜日の継続試合につないでいます！

ミニ移動図書館「本とお散歩号」で借りた本

「あrika (瀬尾まいこ)」 ブックトーク



今回は、2階に設置してある「ミニ移動図書館『本とお散歩号』」で出会った本、瀬尾まいこさんの「あrika」を紹介します。

みなさんは、「家族」と聞いてどんなつながりを思い浮かべますか？

血がつながっているお父さんやお母さん、きょうだい……。多くの方は、そんな「血縁関係」を思い浮かべるかもしれません。

でも、血のつながりがなかったり、一度は法律上の関係が切れてしまったりしたら、もうその人たちは「家族」ではなくなってしまうのでしょうか？

今回紹介する瀬尾まいこさんの『あrika』は、シングルマザーの母親、小学生の娘、そして「元夫の弟(義理の弟)」と、その「年の離れた男性パートナー」という、一見するととても不思議なつながりを持った4人が中心となる物語です。

主人公の飯塚美空(いづか みく)は、女手一つで小学生の娘・ひかりを育てるシングルマザーです。離婚し、一人で仕事と子育てを両立させる毎日は決して楽ではありません。時に心の余裕をなくし、孤独や不安を抱えてしまうこともあります。そんな美空とひかりの生活を、一番近くで支えているのが颯太(そうた)です。颯太は、美空の7年下の「元夫の弟」つまり、離婚したことによって、本来なら他人に戻っていてもおかしくない、元・義理の弟なのです。普通なら疎遠になってしまうような関係ですが、颯太は離婚後も変わらず美空たちの味方であり続け、親身になって母娘を支えます。さらにそこへ、颯太の同性のパートナーである、少し年の離れた男性も加わります。

シングルマザーの美空、その娘のひかり。元夫の弟である颯太、そしてその恋人の男性。血のつながりや、世間一般的な「夫婦」「親子」という枠組みには当てはまらない4人ですが、彼らは日々の生活の中で、お互いの足りない部分を補い合い、支え合っています。ひかりにとっても、この大人たちはみんな、自分を心から愛し、守ってくれるかけがえのない存在です。世間の「普通」からは少しはみ出しているかもしれない。けれど、そこには誰よりも強く優しい、彼らだけの「あrika(居場所)」が作られていくのです。

この小説の一番の魅力は、「家族とは何か」を深く考えさせてくれる点です。美空と颯太は、離婚によって親戚関係ではなくなっています。それでも2人が強力

なパートナーとして支え合えるのは、相手を思いやる「意志」があるからです。血のつながりや法律の枠を超えて、自分たちで心地よい関係を作っていく姿は、多様性を生きたみなさんの心に強く響くはずです。

小学生のひかりは、父がいない寂しさや、母親の忙しさを幼いながらに感じ取っています。そんなひかりを包み込むのが、美空だけでなく、年齢も性別も異なるユニークな大人たちです。いろいろな背景を持つ大人たちが、一人の子どもをみんなで大切に育てる姿には、読んでいて圧倒的な安心感と温かさがあります。

タイトルになっている「あrika」とは、自分が自分らしくいられる場所、つまり「心の居場所」のことです。世間が求める「普通の家庭」の形をしていなくても、そこに確かな愛と笑顔があるなら、そこは立派な我が家であり、大切な「あrika」になります。居場所は一つじゃなくていい、自分で作っていいんだというメッセージが、物語全体から優しく伝わってきます。

みなさんの中には、自分の家庭環境や、周りとの「違い」に悩んでいる人がいるかもしれません。「どうしてうちは普通と違うんだろう」と、寂しさや不安を感じることもあるでしょう。しかし、この小説に登場する4人を見てみると、「普通」という言葉がいかに狭いものかが分かります。大切なのは、周りや形が同じかどうかではなく、目の前にいる人をどれだけ大切にできるか、ということ。完璧な人間も、完璧な家族もいません。だからこそ、私たちは誰かと手を取り合い、自分たちの手で「居場所」を作っていくことができます。

美空とひかり、そして颯太とそのパートナー。彼らが紡ぐ、少し変わっていて、でもどこよりも温かい日常を、ぜひ覗いてみてください。読み終わったとき、自分の周りにいる大切な人の存在や、「居場所」の意味が、少し違って見えるはずです。

ぜひみなさんに読んでほしい一冊です。



「ブックライブ」☆☆☆☆☆コメント

https://booklive.jp/review/list/title_id/1827715/vol_no/001

本屋大賞ノミネート作品。瀬尾さんの作品が好きで読んでみました。

シングルマザー(美空)とその娘(ひかり)の2人の暮らしの話。親とは何かが描かれている。

親が子に対して与える無償の愛。親子とも愛とも少し異なるが、そのようなことを私が直近で感じたのは、入社以来ずっとサポートしてくれた先輩のこと。たくさん面倒見てくれたし、私が迷惑をかけてしまったその先輩が、先日退職してしまった。

自分の仕事があるのに気にかけてくれたり、そのサポートがあって今の自分があるし、そのサポートがあってさえもあまり成長できていない自分がいる。そのような先輩を感謝しつつ、手本にしたいと思う。

(作品と話が逸れてしまい、すみません。)



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェブの
登録商標です(下地中学校HPへ)

6/11(木) 初任者研修会

先輩教師の授業「道徳」 2Aで人司先生が授業

6/11(木) 6校時、みだしの『初任者研修会』先輩教師の授業実践『道徳』を、2年A組で與座 人司先生が行いました(校内研修も兼ねていたため、1・3年生は5校時まででした)。

本年度の初任者は24名、先生方も参観するという事で教室は「多目的教室」を使って行いました。

教材は、「泣いた赤おに」小学校教材ですが、学び直しということで中学校の教科書に「付録」として掲載されています。あらすじは、次の通りです。

村人と仲良くしたい赤鬼が、お茶やお菓子を準備して家に招待するのですが、村人はそんな赤鬼を怖がり、嫌います。

赤鬼の親友、青鬼は自分が悪役を買って出るので、赤鬼が自分を懲らしめれば村人は、赤鬼のことを見直すはずだと提案します。青鬼の計画は成功し、赤鬼は村人と仲良くなるのですが、迷惑を親友である赤鬼に迷惑をかけまいと青鬼は遠くに旅に出てしまいます。そんな青鬼に気持ちを手紙で知った赤鬼は青鬼のことを考え泣くのでした。



no+eより引用

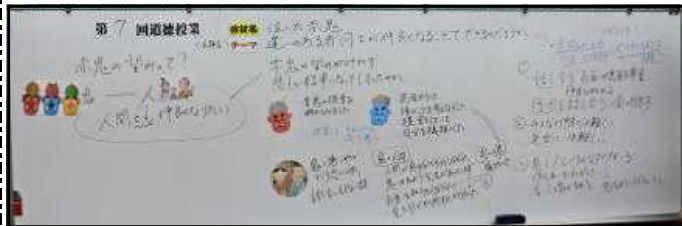
https://note.com/kangaeru_jyunjyo/n/n57ab52a55f8d

教室も変わり、お客さんも大勢いらっしゃる前で、生徒も緊張している様子でした。テーマ「違いのある者同士が仲良



くなることって、できるのだろうか」提示や、発問「赤おにの望みって何だった？」と人司先生の優しい声かけて徐々にいつもの落ち着きを取り戻していきま

した。そして、授業では「赤おに」「青おに」「人間」、違いのある者同士に対する活発な意見交換がなされました。そのおかげで、ホワイトボードにはテーマに迫る言葉がたくさん紡がれていきました。



授業後は、パソコン室に移動して初任者研修会が、職員室では校内研修会が行われました。『友情、信頼』の育ちに向けて、テーマ設定や発問は適切だったか」「生徒は自己を見つめ、よりよい生き方について深く考えているか」「この授業を通して道徳的価値の理解を深めているか」など、それぞれの教室で活発な意見交換を行いました。

指導助言は、宮古教育事務所の佐渡山圭吾 主任指導主事が行いました。学級の雰囲気も良く、人司先生の優しい人柄が授業に反映されていたと褒めていただきました。今回、宮古地区の初任者教師のために先輩による授業実践をしていただいた人司先生、居残りて公開授業を頑張ってくれた2Aの皆さん、大変お疲れ様でした。

今週金曜日(6/19)5校時には、本校の道徳研究に係る「第1回検証授業」を実施します。授業は、各学級担任が行います。生徒の皆さんも、一緒に頑張りましょう!



6/14(日) 沖縄タイムス掲載記事

牡丹郷と宮古 進む交流

愛と平和の精神 絆強める



今回は、6/14(日) 沖縄タイムスに掲載されていた新聞記事『牡丹郷と宮古 進む交流』愛と平和の精神 絆強める」を紹介します。

牡丹郷と宮古 進む交流**愛と平和の精神 絆強める**

【宮古島】台湾に漂着した宮古島の役人ら54人が現地住民に殺害された1871年の牡丹郷事件で、被害者や加害者の和解を進めて絆を強めようという台湾屏東県牡丹郷の訪問団が8日、宮古島市を訪問した。12日までの日程で2小学校を訪ねて児童と交流し、事件を伝える「愛と平和の記念碑」も視察して歴史を学んだ。

(宮古支局・又吉健次)



⑤夕食会で台湾の踊りを披露する牡丹郷小などの子どもたち⑧日、宮古島市内⑥レクリエーションを楽しむ牡丹郷の小学生たちと南小6年生⑨日、宮古島市立南小



牡丹郷事件は74年の台湾出兵、79年の琉球処分のおきつけとなった歴史的な出来事。戦後、遺族と台湾側の面談などがあり、牡丹郷と市は2024年、交流協定を結んだ。

互いに歌や踊り披露**台湾から児童訪問**

小学校の児童ら計27人が参加した。

一行は9日、南小学校の6年生92人と交流。台湾側が歌や伝統的な踊りを発表すれば、南小は旗を持って踊る校歌遊戯を披露した。

細長い棒を持って5人で一緒に走るレクリエーションでは転ぶ児童もいて笑いが起き、身ぶり手ぶりを交えて会話を楽しんだ。

南小6年の高濱遥さんは「台湾の踊りは手拍子もあって日本と違った。スマホの翻訳機能を使って『クラブ活動は何ですか』と話して、外国人と通じ合えて良かった」と喜ぶ。石門小5年の李祖諾さんは「南小の人は親切で、校歌遊戯は習いたくなった」と楽しそうだった。

交流する子どもたちに目を細めた潘郷長は「事件はあったが、愛と平和の精神で対応しなりたいと考えていた。今後交流が続くようにしたい」と語った。

訪問団は8日、市役所に嘉数登市長を表敬訪問。この日の夕食会で嘉数市長は「宮古島での経験が宝物となり、国際交流をする礎となつてほしい」と台湾の子どもたちに期待した。

【お知らせ】**1. 地区中体連夏季総体の結果**

☆野球競技:「宮古チーム」は、初戦で平良に1-6で敗れたものの、2戦目の北・西辺に3-2で勝利。県大会派遣については、これから行われる「平良 vs 北・西辺」の結果待ちとなっています。



2. 宮古島警察署・宮古島地区防犯協会から「防犯活動功労賞(団体賞)」を下地中学校が受賞しました!

